

第2号様式の6 (第11条の4の11関係)

自衛消防訓練実施結果記録書			
実施日時	令和6年 5月 10日 14時 45分 から 16時 00分 まで		
実施場所	小規模多機能すずかぜ東山		
実施範囲	全体・部分 (棟 階)		
訓練想定 (該当する□にチェックをし、具体的な内容を記載する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 火災 ・ <input type="checkbox"/> 地震 ・ <input type="checkbox"/> その他の災害 () 具体的な内容： 事業所南東にある空き家から出火 通報訓練・避難誘導訓練後、水消火器を使った消火訓練を実施。 5/10～5/15の期間で全社員 AED 訓練実施。		
訓練項目等 (該当する□にチェックをし、参加人員を記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合訓練		名
	個別訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練	7名
		<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	17名
<input type="checkbox"/> その他 ()		名	
訓練参加者内訳	従業者・お客様等 (全員・一部) 19名 (うちパート・アルバイト 名) 参加者内訳：自衛消防隊員 1名 自衛消防活動中核要員 名 (うち 本部長中核要員 名 (うち 防災センター要員 名)) 地区中核要員 名		
訓練指導者	職 管理者 氏名 山口 幸子		
結果への意見	全体の評価	全員が真剣に取り組み、概ねスムーズに行う事が出来た。 14時45分に火災報知器発動後、建物南西側駐車場に避難、安否確認報告までの所要時間が約12分であった。	
	推奨事項	避難誘導する際の声掛けがしっかりなされ、速やかな対応が出来ていた。 消火訓練も本番さながらに実施する事が出来た。 二方向避難が行っていた。	
	反省点	通報訓練：焦りから事前に通報訓練である事を伝えなかった。 避難訓練：窓・扉が開放されていた。 火元に近いお客様からの避難が出来なかった。 避難所持機者対応が遅れた。 点呼訓練：PCがなかなか起動せず点呼まで2分時間を要した。 タブレット、もしくは毎日出している利用者日別用紙を持っていく。 ※対策本部長への連絡が抜けた。 どのタイミングで連絡するか、管理者不在の際は誰がどの順番で連絡するかも明確にしておく必要がある。	

記 録 作 成 者	職 管 理 者	氏 名 山 口 幸 子
-----------	---------	-------------

備考 1 総合訓練とは、火災の覚知又は発見から消防隊到着までの初期消火、通報連絡、避難誘導、消防隊への情報提供などの一連の自衛消防活動に係る訓練をいう。

2 訓練の事前計画や実施記録等を別に作成した場合は、添付しておくこと。

3 自衛消防訓練実施結果記録書は、3年間保存すること。

(日本産業規格A列4番)